

私の仕事観

「一歩先行く人と技術を育む価値創造力で社会に貢献」これが当社の基本理念です。技術者としてキャリアをスタートした私自身、「新たな技術の先取り」が技術者に求められることであり、やりがいでもあると実感しています。代表取締役社長という大任を拝した今、当社にとって唯一無二の財産である技術者の皆さんが、そうしたやりがいを実感できる環境をさらに整備することが使命であり、その鍵はこれまでも力を入れてきたキャリアアップ支援のさらなる充実と意欲高く取り組める仕事の場を多彩に用意することだと考えています。

技術者が成長の喜びを実感できる

環境整備が百億円企業への鍵

最近思っていることあり

日本を代表する企業様をはじめ様々なものづくり企業様のパートナーとしてエンジニアリングサービスを提案している当社。クライアント様の多くが厳しい競争環境にさらされ、パートナー企業に対するご要望はますます高度になっていきます。既存の枠組みに囚われず成果を出せるパートナーを求めておられるということであり、技術ナレッジを蓄積してきた当社にとって市場拡大のチャンスでもあります。例えば、酒造メーカー様のニーズに応え、装飾用折り紙・蝶結び作業を全自動化する装置を自社開発しました。今後とも変化を追い風に挑戦を続けていきます。

Face of

●会社概要

1959年設立。F A、メカトロ装置の設計製作領域を中心に受託開発、技術者派遣、請負といった多様なエンジニアリングサービスを提供。自動車、プラント、半導体、医療機器、食品など幅広い分野でトップ企業を含めたクライアント企業は200社以上。本社／東京都千代田区。全国に8拠点、国内2社と台湾に1社の子会社を有する。



三和工機株式会社
代表取締役社長

工藤 康寛

くどう やすひろ

1956年生まれ。山形大学工学部出身。1979年三和工機入社。技術部長、営業部長を経て2006年取締役就任。2016年3月、平田昌弘前代表取締役社長の急逝に伴い代表取締役社長に就任。「経営基盤と社員の資質を含め100億企業にふさわしい企業に、というのは平田前社長の悲願。ご恩に報いるためにも謙虚・見識・健康の3つのKを大切にビジョン達成に全力を尽くす所存です」。

未来に向かっています

本年4月(第62期)から2020年に向け5カ年計画「Sanwa Vision 2020」をスタートさせました。同計画で定めた目標は「売上高100億円」「顧客満足度90%超」「社員満足度80%超」。この3つは分かちがたく結びついています。一人ひとりの社員の力が最大の経営資源である当社にとって、「社員満足度」の向上が「顧客満足度」を上げることになり、「売上」に直結するからです。ビジョン達成に向け、社員それぞれが目標を立てて主体的に能力を向上させ、成長の喜びやこの会社にいる誇りを感じられるような制度と風土をさらに整備していきます。